

作成日 2023年4月21日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| 化学品等の名称 | [6]-ギンゲロール |
| 製品番号 | 11 |
| 供給者の会社名 | 岩嶋薬品株式会社 |
| 住所 | 名古屋市守山区桜坂4丁目201番地 |
| 電話番号 | 052-715-5601 |
| ファックス番号 | 052-715-5602 |
| 電子メールアドレス | info@iwashimayakuhin.co.jp |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 試験研究用の試薬である。人又は動物に用いない。 |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-----------|---|---|
| GHS分類 | | |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） 皮膚刺激性 眼刺激性 絵表示（ピクトグラム） | 区分3 区分2 区分2A |
| |  | |
| | 注意喚起語 危険有害性情報 | 危険 飲み込むと有毒 皮膚刺激 強い眼刺激 |
| | 注意書き 安全対策 | 取り扱い後はよく手を洗う。眼には触らない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 この製品を使用する時に、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。 |
| | 応急措置 | 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡する。 口をすすぐ。 皮膚に付着した場合、多量の水で洗う。 皮膚に刺激が生じた場合は、医師の診察を受ける。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。 眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。 |
| | 保管 廃棄 | 施錠して保管する。 内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。 |
| | 他の危険有害性 | 情報なし |

3. 組成及び成分情報

| | |
|--------------------|------------------|
| 化学物質・混合物の区別 | 化学物質 |
| 化学名又は一般名 | [6]-ギンゲロール |
| 濃度又は濃度範囲 | 98.0パーセント |
| 分子式（分子量） | C17H26O4（294.39） |
| CAS登録番号（CAS RN） | 23513-14-6 |
| 官報公示整理番号（化審法） | — |
| 官報公示整理番号（安衛法） | — |
| 化管法指定化学物質の種別 | — |
| 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 | 非該当 |

4. 応急措置

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 吸入した場合 | | 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合 | | 流水で洗い流す。症状が続く場合には、医師に連絡する。 |
| 眼に入った場合 | | 水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外す。その後も洗浄を続ける。症状が続く場合には、医師に連絡する。 |
| 飲み込んだ場合 | | 直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | | 情報なし |
| 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 | | 情報なし |
| 医師に対する特別な注意事項 | | 情報なし |
| 5. 火災時の措置 | | |
| 適切な消火剤 | | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤 二酸化炭素を使用する。 |
| 使ってはならない消火剤 | | 情報なし |
| 火災時の特有の危険有害性 | | 火災の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。 |
| 特有の消火方法 | | 情報なし |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | | 状況に応じ適切な自給式の呼吸器保護具、眼や皮膚を保護する保護具を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置 | | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | | 関係者以外の立ち入りを禁止する。 十分に換気し、作業者は適切な保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | | 環境への排出を避ける。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | | 漏出物を飛散させないように適切に回収する。 |
| 二次災害の防止策 | | 廃棄物の処理にあたっては、「13.廃棄上の注意」の項を参照すること。 汚染物の残留を除くため汚染された物体および場所をよく洗浄する。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | | |
| 取扱い | 技術的対策 安全取扱い注意事項 | 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護具を着用する。 乱暴な扱いをせず、粉じんと接触や吸入を避ける。 保護具を着用する。 使用後は容器を密閉する。 取り扱い後は手をよく洗う。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 |
| | 接触回避 衛生対策 | 「10.安定性及び反応性」を参照。 取り扱い後は手をよく洗う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。 |
| 保管 | 安全な保管条件 安全な容器包装材料 | 直射日光を避け、冷暗所に保管する。 施錠する。 ガラス。密閉容器。 |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | | |
| 管理濃度 | | 設定されていない |
| 許容濃度 | 日本産衛学会 ACGIH | 設定されていない 設定されていない |
| 設備対策 | | 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 局所排気装置を設置する。 |
| 保護具 | 呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具 | 防じんマスク 保護手袋 ゴーグル型保護眼鏡 実験用白衣や長袖作業衣 |
| 特別な注意事項 | | 保護具は保護点検表により、定期的に点検する。 |
| 9. 物理的及び化学的性質 | | |
| 物理的状态 | 状態 色 臭い | 液体又は固体 黄白色～黄色 データなし |

| | | |
|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 融点・凝固点 | | 約30℃ |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | | データなし |
| 可燃性 | | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | | データなし |
| 引火点 | | データなし |
| 自然発火点 | | データなし |
| 分解温度 | | データなし |
| pH | | データなし |
| 動粘性率 | | データなし |
| 溶解度 | | メタノール又はエタノール(99.5)に溶けやすく、水にほとんど溶けない |
| n-オクタノール／水分配係数 (log値) | | データなし |
| 蒸気圧 | | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | | データなし |
| 相対ガス密度 | | データなし |
| 粒子特性 | | データなし |
| その他データ | | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | | |
| 反応性 | | データなし |
| 化学的安定性 | | 熱、光により分解する |
| 危険有害反応可能性 | | データなし |
| 避けるべき条件 | | 高温および直射日光 |
| 混触危険物質 | | データなし |
| 危険有害な分解生成物 | | データなし |
| 11. 有害性情報 | | |
| 急性毒性（経口） | | 経口LD50 : 250 mg/kg（マウス） |
| 急性毒性（経皮） | | データなし |
| 急性毒性（吸入：気体） | | データなし |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | | データなし |
| 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） | | データなし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | | データなし |
| 呼吸器感作性 | | データなし |
| 皮膚感作性 | | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | | データなし |
| 発がん性 | | データなし |
| 生殖毒性 | | データなし |
| 生殖毒性・授乳影響 | | データなし |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | | データなし |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | | データなし |
| 誤えん有害性 | | データなし |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 生態毒性 | 水生環境有害性（短期/急性） | データなし |
| | 水生環境有害性（長期/慢性） | データなし |
| 残留性・分解性 | | データなし |
| 生態蓄積性 | | データなし |
| 土壤中の移動性 | | データなし |
| オゾン層への有害性 | | データなし |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 | |
| 汚染容器及び包装 | 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 | |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国際規制 | 国連番号 | UN2811 |

| | | |
|--|---|---|
| | 品名（国連輸送名） | その他の毒物、固体、有機物、他に品名が明示されていないもの（[6]-ギンゲロール） |
| | 国連分類（輸送における危険有害性クラス） | 6.1 |
| | 副次危険 | － |
| | 容器等級 | II |
| | 海洋汚染物質 | 非該当 |
| 国内規制 | 海上規制情報（危険物船舶運送及び貯蔵規則） | 毒物類・毒物（危規則第3条危険物告示別表第1） |
| | 航空規制情報（航空法施行規則） | 毒物類・毒物（危規則第3条危険物告示別表第1） |
| | 陸上規制情報 | 非該当 |
| 15. 適用法令 | | |
| | 労働安全衛生法 | 非該当 |
| | 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） | 非該当 |
| | 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| | 労働基準法 | 非該当 |
| | 化審法 | 非該当 |
| | 消防法 | 非該当 |
| | 大気汚染防止法 | 非該当 |
| | 水質汚濁防止法 | 非該当 |
| | 水道法 | 非該当 |
| | 下水道法 | 非該当 |
| | 海洋汚染防止法 | 非該当 |
| | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 非該当 |
| 16. その他の情報 | | |
| 引用文献および参照ホームページ等 | 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）：化学物質総合情報提供システム 厚生労働省：職場のあんぜんサイトGHS対応モデルSDS情報 日本薬局方 稲垣勲（1972）『植物化学』第4版 医歯薬出版 National Institutes of Health：PubChem 欧州リスク評価委員会：Opinion of the Committee for Risk Assessment (RAC) in EU | |
| 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 本データシートは当該製品の化学物質としての危険性又は有害性の情報を提供するものです。ただし、記載した情報は公開情報、文献などに基づく参考情報であり、いかなる保証をするものではありません。 | | |